

## 安全データシート

作成日 2010年 5月 21日

改訂日 2023年 2月 28日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 個人情報保護スタンプ ローラーケシポン / ローラーケシポンワイド /  
ローラーケシポンスティック / ローラーケシポン mini  
品番 IS-500CM-B / IS-007CM / IS-510CM / IS-017CM / IS-550CM / IS-004CR / IS-004CM  
コード 37-645 / 37-646 / 37-647 / 37-648 / 37-649 / 37-299 / 38-130 / 38-131 / 38-132 /  
38-133 / 38-134 / 38-129 / 39-146 / 39-147 / 39-148 / 39-149 / 39-150 / 39-151 /  
39-188 / 38-199  
会社名 プラス株式会社  
住所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12F  
担当部門 CSR本部 品質保証部  
緊急連絡電話番号 03-5860-8005  
FAX番号 03-5860-8013  
E-mail env\_psc@plus.co.jp  
整理番号 G05B2801  
推奨用途及び  
使用上の制限 スタンプインキ

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分に該当しない

## 健康に対する有害性

急性毒性 : 区分に該当しない

※記載のない項目は「分類できない」

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル

なし

## 注意喚起語

なし

## 危険有害性情報

なし

## 注意書き

なし

## 特有の危険有害性

消防法 危険物質第4 類第4 石油類

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : ポリエーテルポリオールとカーボンブラックとの混合物  
成分及び含有量

成分	CAS No.	含有量(wt%)	PRTR 法
カーボンブラック	1333-86-4	10-15%	-

ポリビニルアルコール系ポリマー	-	4-7%	-
ポリエーテルポリオール系溶剤	-	60-80%	-
ポリアルキレングリコール系溶剤	-	5-10%	-

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。  
症状が出た場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。  
コンタクトレンズを使用している場合は可能であれば取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。  
直ちに医師の手当て診断を受けること。
- 予想される急性症状 : データなし
- 最も重要な兆候及び症状 : データなし
- 応急措置をする者の保護 : データなし
- 医師に対する特別注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させる恐れがある。
- 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。周辺設備に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。  
作業に際しては保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川、下水等に排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : 少量の場合は、吸収材（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
大量の場合は、土・砂などの吸収剤で困って吸着させ、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する  
取扱いの際には、よく換気されている場所でおこなうのが望ましい。  
危険物質第4類第4石油類の取り扱いに準じる。
- 注意事項 : 漏れ、あふれ、飛散しないように注意する。  
皮膚、眼、衣服との接触を避ける。  
付着した場合は [ 4. 応急措置 ] に従い、十分に洗浄する。

保管

技術的対策	: 火気、強酸化剤の接触、直射日光を避けた換気の良い場所に保管する。 危険物質第4類第4石油類の取り扱いに準じる。
安全な容器包装材料	: 移し替えずに専用容器で保管するか、ポリエチレン、ポリプロピレン製容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 製品としての設定なし
許容濃度	: 製品としての設定なし
設備対策	: 屋内作業所での通常使用の場合は、局所排気装置を設置し換気をよくすることが望ましい。 取り扱い場所の近くに洗浄設備を設け、位置を明瞭に表示する。

### 保護具

呼吸器の保護具	: 状況に応じ、有機溶剤用マスク等
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: 状況に応じ、保護眼鏡を使用
皮膚及び身体の保護具	: 状況に応じ、長袖の保護衣及び安全靴

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 黒色
臭い	: 微臭
融点/凝固点	: -30°C以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 215°C以上
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度 (水)	: 不溶
溶解度 (その他)	: アルコール系溶剤に易溶
n-オクタノール、 水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度 (比重)	: 1.0 - 1.05
相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 特記すべき反応性はなし。
化学的安定性	: 高温、高圧を加えない一般的状态では安定である。
危険有害反応可能性	: 高温、高圧を加えない一般的状态では安定である。
避けるべき条件	: 高温、高圧で長時間保存しない。
混触危険物質	: 強酸、強塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	: (経口) LD50 ラット 2410mg/kg (ポリプロピレングリコール) 区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な 損傷性・眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: カーボンブラック IARC 発がん性分類でグループ 2B (ヒトに対して発がん性があるかもしれない) に分類されている。しかし粉体曝露の可能性がほとんどないので、「印刷インキ、ゴム、塗料の使用による曝露は無視できる」とされている。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 該当法規(国・都道府県および地方のお法規・条例)に従って廃棄物処理を行う。 外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。

---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	: IMDG, IATA の規則に従う。
国連番号	: 該当しない
品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
国内規制	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
陸上輸送	: 非危険物
航空輸送	: 非危険物
輸送の特定の安全対策 及び条件	: 運搬に際しては容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように 積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。火気注意。

---

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物および有害物 カーボンブラック（政令番号 130） [ 10 - 15 % ] 名称等を表示すべき危険物および有害物 カーボンブラック（政令番号 130） [ 10 - 15 % ]
化学物質管理促進法 （PRTR法）	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 危険物質第4類第4石油類（許容量：6000L）

---

#### 16. その他の情報

記載内容は安全にご使用頂く為の情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。